

1. 件名「泊発電所原子炉施設保安規定変更認可申請（1号炉の高経年化技術評価等）に関する事業者ヒアリング（14）」

2. 日時：平成31年4月16日 15時00分～16時00分

3. 場所：原子力規制庁 9階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

審査グループ実用炉審査部門

藤森安全管理調査官、塚部管理官補佐、池田廃止措置専門官

長官官房技術基盤グループ

システム安全研究部門

池田上席技術研究調査官、河野主任技術研究調査官、小嶋主任技術研究調査官、橋倉技術研究調査官、北條技術研究調査官、皆川技術研究調査官、中野技術参与

北海道電力株式会社

泊発電所 原子力事業統括部 原子力設備グループリーダー ほか9名

5. 要旨

(1) 北海道電力泊発電所1号炉の高経年化技術評価について

○北海道電力から高経年化技術評価（共通事項、低サイクル疲労、中性子照射脆化、コンクリート構造物及び鉄筋構造物）について、資料に基づき説明があった。

○原子力規制庁から、以下のとおり確認を行った。

【コンクリート構造物及び鉄骨構造物】

一凍害危険度に関する考察において、代表構造物との対応や最低気温の年間極値の考え方について、より具体的に説明すること

○北海道電力から、了解した旨回答があった。

6. 資料

(1) 「提出資料リスト」

(2) 「泊発電所1号炉 高経年化技術評価（共通事項） 補足説明資料」

(3) 「泊発電所1号炉 高経年化技術評価（低サイクル疲労） 補足説明資料」

(4) 「泊発電所1号炉 高経年化技術評価（中性子照射脆化） 補足説明資料」

(5) 「泊発電所1号炉 高経年化技術評価（コンクリート構造物及び鉄骨構造物） 補足説明資料」